

AID40 @ OSAKA

JIA U-40 建築家セミナー 2011 「40年間をみつめて40年後の明日(A)と今(I)をデザイン(D)する」

建築家の役割はどうあるべきか。社会構造の変革が問われる今、建築家はどこへ進むべきか。問題意識を共有しつつある最中に東日本大震災が起こり問題はいつそう明確になりました。AID40では、私達U-40世代が生まれた頃から第一線で活躍されてきた建築家に直接生きざまを伺い、私達が建築家としてどのように生きていくのか、もう一度自身に問い直す機会にしたいと思います。AID40は@大阪を皮切りに@金沢、@札幌、@福岡と開催し、各地の議論を持ちよりUIA2011東京大会につなげます。

2011/06/10(金) (開場 17時半~) 18時~21時

榎文彦 × U-40

session-1 榎文彦 「建築家とはどのようにいけるべきか」
— 半世紀の建築家生涯を振り返って —

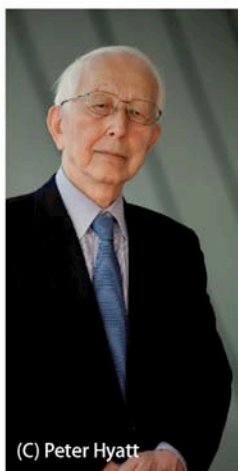
session-2 榎文彦 × 山崎亮 × U-40

進行 倉方俊輔

(CPD:3単位)

場所: ライティング・コア大阪(大光電機ショールーム)

定員: 120人 / 参加料: 震災義援金として1000円



榎文彦 (Fumihiko MAKI)

建築家。株式会社横総合計画事務所代表取締役。
1928年東京生まれ。東京大学、ハーバード大学に学びまた教鞭を執る。
代表的作品:30代 名大豊田講堂、40代 ヒルサイドテラス、50代 スパイラル、60代 東京体育館、幕張メッセ、70代 風の丘斎斎場、80代 MITメディアラボ等。内外受賞多数、今年AIAよりゴールドメダル。

山崎亮 (Ryo YAMAZAKI)

コミュニティデザイナー。studio-L 代表。京都造形芸術大学芸術学部教授。
1973年愛知生まれ。2005年studio-L設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。著書に『コミュニティデザイン(学芸出版社)』他。

倉方俊輔 (Shunsuke KURAKATA)

建築史家。大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻准教授。
1971年東京生まれ。主に日本の近現代建築の歴史と批評に携わる。単著に『吉阪隆正とル・コルビュジエ』、共著に『建築家の読書術』、『東京建築ガイドマップ』、『吉阪隆正の迷宮』他。

(C) Peter Hyatt

DAIKO/大光電機(株) ライティング・コア大阪
本社ショールーム
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル
Tel.(06)6222-6224 Fax.(06)6222-6229

ACCESS MAP

大阪市営地下鉄 御堂筋線 淀屋橋駅 11番出口 徒歩2分
御堂筋線 北浜駅 6番出口 徒歩5分
※駐車場はございません

参加ご希望の方は下記にご記入の上、大光電機株式会社担当者にお渡し頂くかFAX・e-mailにて6月6日(月)までにお申し込みください。※定員オーバーによりご参加頂けない方のみにご連絡させていただきます。

FAX:(06)6222-6252・e-mail:event@lighting-daiko.co.jp

お名前

会社名

住所 〒

電話番号

セミナーに関するお問い合わせは、大光電機株式会社/経営戦略室 TEL:(06)6222-6250まで

主催:(社)日本建築家協会青年WG、(社)日本建築家協会近畿支部、大光電機株式会社

後援:UIA2011東京大会 日本組織委員会(JOB) 運営:(社)日本建築家協会近畿支部青年委員会

【個人情報に関して】ご記入いただいた個人情報は、大光電機株式会社からお客様へのご連絡(セミナー案内等)や各種情報(e-mail, DM, FAX等)のお届け、また、各種イベントの開催・運営を目的として利用いたします。当該個人情報は、大光電機株式会社、社団法人日本建築家協会のみが取り扱い、その他の第三者には一切提供いたしません。【参加料に関して】今年度の建築家セミナーは東日本大震災への義援金として参加料をいただくこととしました。皆様からお受けした義援金は、全額を(社)日本建築家協会が責任を持って、震災復興を行っている公益団体等に寄付します。

UIA
2011
TOKYO

DESIGN
2050

